

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

(仮称)フレッシュパザール長岡京店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)201

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

スコアシート

実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境						
1 音環境		3.0	0.40			3.3
1.1 騒音		3.0	0.15			3.0
1 室内騒音レベル		3.0	1.00			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽衝撃源)						
4 界床遮音性能(重衝撃源)						
1.3 吸音		3.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.50			
3 外皮性能		3.0	0.17			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.33			
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.50			
1 屋光率						
2 方位別開口						
3 屋光利用設備		3.0	1.00			
3.2 グレア対策						
2 屋光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御		3.0	0.50			
4 空気質環境		4.3	0.26			4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50			
1 化学汚染物質	内装使用材料は規制対象外材料を使用	5.0	1.00			
4.2 換気		4.0	0.30			
1 換気量	建築基準法及び学校環境衛生基準を満たす換気量の1.4倍以上	5.0	0.50			
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			3.3
1 機能性		3.6	0.40			3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40			
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画	バリアフリー法の移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満足	4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30			
1 広さ感・景観	売場天井高3.95m	5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画		3.0	0.33			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23			

2.4 信頼性		3.0	0.19		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性		3.3	0.29		-	3.3
3.1 空間のゆとり		4.2	0.31		-	
1 階高のゆとり	階高5.45m	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.38		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30		-	3.8
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	植栽等により良好な景観を形成	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.1
LR1 エネルギー		-	0.40		-	3.3
1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.30		-	3.0
2 自然エネルギー利用		4.0	0.20		-	4.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	太陽光発電を利用	4.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	同上	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		3.4	0.30		-	3.4
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	ERR=9.6%	3.0			-	
集合住宅の評価					-	
4 効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30		-	3.0
1 水資源保護		3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.63		-	3.0
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境		-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮		3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	0.33		-	
2 振動		3.0	0.33		-	
3 悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	